

## 第 361 回脂溶性ビタミン総合研究委員会プログラム

日時：平成 31 年 3 月 15 日（金）13：30～

委員会会場：お茶の水女子大学 大学本館 306 室

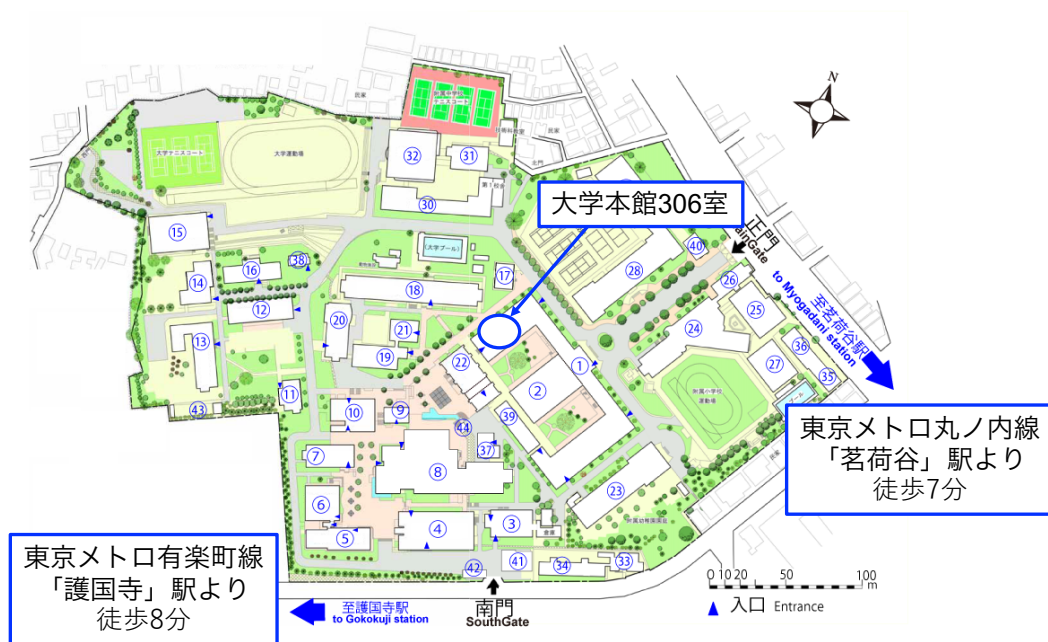
東京都文京区大塚 2-1-1

情報交換会：17:15～ 大学生協 マルシェ

世話人：藤原 葉子 委員

### <研究発表>

1. 必須脂肪酸欠乏における脂肪酸伸長酵素のリン酸化を介した脂肪酸代謝の制御機構  
市 育代, 藤原葉子  
お茶の水女子大学・基幹研究院
2. Am80 とエピジェネティック阻害薬との併用効果：核内受容体 RAR の新たな制御手法  
湯浅磨里, 影近弘之  
東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
3. 肝臓の炎症・免疫におけるビタミン D 受容体の役割 (コンカナバリン A 誘導性肝炎モデル)  
槇島 誠  
日本大学・医学部・生化学
4. ビタミン D 活性を有するリトコール酸誘導体の構造展開  
棚谷 綾<sup>1</sup>、吉岡千咲<sup>1</sup>、川崎波留<sup>1</sup>、佐々木晴江<sup>1</sup>、増野弘幸<sup>2</sup>、河内恵美子<sup>2</sup>、影近弘之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> お茶の水女子大学・基幹研究院, <sup>2</sup> 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
5. 13 位 <sup>13</sup>C-レチニルエステルの効率的な合成法  
和田 昭盛<sup>1</sup>、松浦 知和<sup>2</sup>、古庄 律<sup>3</sup>、山内 淳<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 神戸薬科大・生命有機化学, <sup>2</sup> 慈恵医大・臨床検査医学, <sup>3</sup> 東京農大・応生・栄養,  
<sup>4</sup> 東京農大・国際・食農
6. <sup>13</sup>C-retinyl acetate 呼気試験によるビタミン A 欠乏・不足状態判定の試み  
-バイオ人工肝臓と高感度ガス質量分析装置を用いた基礎的検討-  
松浦知和<sup>1</sup>、中村まり子<sup>1</sup>、和田昭盛<sup>2</sup>、古庄 律<sup>3</sup>、山内 淳<sup>4</sup>、目崎喜弘<sup>1</sup>、政木隆博<sup>1</sup>、  
堀部晃啓<sup>5</sup>、末岡邦昭<sup>5</sup>、相原 達<sup>5</sup>、菅原純一<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 慈恵医大・臨床検査医学, <sup>2</sup> 神戸薬科大・生命有機化学, <sup>3</sup> 東京農大・応生・栄養,  
<sup>4</sup> 東京農大・国際・食農, <sup>5</sup> 日本 IBM 東京基礎研究所, <sup>6</sup> 日本金属化学 (株)・技術部
7. 食餌誘導性 NASH モデル動物を用いたビタミン A および脂質代謝  
古庄 律<sup>1</sup>、本山智之<sup>1</sup>、山内 淳<sup>2</sup>、谷岡由梨<sup>1</sup>、美谷島克宏<sup>3</sup>、煙山紀子<sup>3</sup>、中江 大<sup>3</sup>、  
和田昭盛<sup>4</sup>、松浦知和<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 東京農大・応生・栄養, <sup>2</sup> 東京農大・国際・食農, <sup>3</sup> 東京農大・応生・健康,  
<sup>4</sup> 神戸薬科大・生命有機化学, <sup>5</sup> 慈恵医大・臨床検査医学



- ◎ 次回委員会は 6月6日(木) ホテルモナーク鳥取(鳥取市)  
 世話人 松浦 達也 委員  
 9月13日(金) 芝浦工業大学(東京)  
 世話人 福井 浩二 委員

問い合わせ先：脂溶性ビタミン総合研究委員会 事務局  
 お茶の水女子大学 市 育代  
 E-mail [ichi.ikuyo@ocha.ac.jp](mailto:ichi.ikuyo@ocha.ac.jp)  
 Tel 03-5978-5750 Fax 03-5978-5751